

秋田県新型インフルエンザ等対策行動計画（案）の概要について

保健・疾病対策課

根拠法令：新型インフルエンザ等対策特別措置法

計画期間：令和7年度～12年度（6年間）

第1部 はじめに

➤ 改定の目的

新型コロナウイルス感染症対応における課題や政府行動計画等を踏まえ、感染拡大時の迅速な対応を可能とする体制の構築や、県民の安全・安心を確保するための取組の強化、新たな感染症に対する備えの一層の充実により、効果的な感染対策を講じる。

➤ 計画の概要

- ✓ 幅広い感染症に対応し、機動的に対策を切り替える（新型インフルエンザ、新型コロナ以外にも対応）
対象感染症：① 新型インフルエンザ等感染症、② 指定感染症、③ 新感染症
- ✓ 対策を6項目から13項目に拡充

第2部 基本的な方針

➤ 目的と基本的な戦略

- ✓ 感染拡大を可能な限り抑制し、県民の生命及び健康を保護する
- ✓ 県民生活及び県民経済に及ぼす影響が最小限となるようにする

➤ 基本的な考え方

- ✓ 対策項目毎に3期（準備期、初動期、対応期）に分け、特に準備期の記載を充実
 - ・ 準備期 発生前の段階
 - ・ 初動期 世界で新型インフルエンザ等に位置付けられる可能性がある感染症が発生した段階
 - ・ 対応期 対策本部が設置された段階

➤ 社会全体で取り組む対策の重要性

- ✓ 医療対応以外の対策（不要不急の外出自粛要請、施設の使用制限等）と医療対応を組み合わせる行う

➤ 留意事項

- ✓ 社会経済活動とのバランスを踏まえた対策の切替え
- ✓ 関係機関相互の連携協力の確保
- ✓ 基本的人権の尊重
- ✓ 高齢者施設や障害者施設等における対応 等

➤ 実効性を確保するための取組等

- ✓ 多様な主体の参画による実践的な訓練の実施
- ✓ 定期的なフォローアップと必要な見直し 等

第3部 各対策項目の考え方及び取組(対策13項目)

①実施体制

準備期: 実践的訓練、国・市町村等との連携強化
初動期: 対策本部の設置
対応期: 情報の継続的な共有、県による総合調整

②情報収集・分析 ③サーベイランス

準備期: 平時に行う情報収集・分析、DXの推進
初動期: 有事のサーベイランスの開始
対応期: 収集した情報を踏まえた対策の実施

④情報提供・共有、リスクコミュニケーション

準備期: 週報公表、コールセンター設置準備
初動期: } 迅速かつ体系的な情報提供・共有、
対応期: } 偏見・差別等への対応

⑤水際対策

準備期: 検疫所への協力、訓練による連携強化
初動期: } 検疫所等との情報共有
対応期: }

⑥まん延防止

準備期: 基本的な感染対策の普及
初動期: 患者・濃厚接触者への対応の確認
対応期: 発生状況・重症化率等に基づいた対策、
緊急事態宣言等の検討

⑦ワクチン

準備期: 予防接種への理解を深める情報提供
初動期: 接種体制の構築
対応期: 接種開始、健康被害救済

⑧医療

準備期: 医療機関との医療措置協定締結、研修・訓練、施設・設備整備
初動期: 医療提供体制の確保、相談センター整備
対応期: 医療措置協定に基づく入院・外来等の確保、
柔軟かつ機動的な対応

⑨治療薬・治療法

準備期: 研究開発への協力
初動期: 医療機関等への情報提供
対応期: 治療薬の流通管理

⑩検査

準備期: 検査体制の維持
初動期: 検査方法の確立、検査体制の早期整備
対応期: 検査体制の拡充

⑪保健

準備期: 研修・訓練の実施、多様な主体との連携体制の構築
初動期: 有事体制への移行準備
対応期: 相談対応、調査、入院調整、健康観察等の実施

⑫物資

準備期: 感染症対策物資の備蓄
初動期: 備蓄状況の確認、供給準備
対応期: 需給状況の確認、売渡し要請

⑬県民生活・県民経済

準備期: 業務継続計画の策定、衛生用品の備蓄等の勧奨
初動期: 事業継続に向けた準備等の要請
対応期: 県民生活及び社会経済活動の安定の確保を
対象とした対応